

イギリスから伝わった インギー鶏



インギー鶏が有名になったのはなぜ？

明治二十七年（一九一四年）四月二十五日種子島に漂着したキリスの船ドラメルタ号から島民がゆかり受けた鶏であるが、島民がインギリスを「インギー」と呼んだことが由来とされているそうです。インギー鶏は尾骨はあるが尾羽は、發育不全の縮れた尾羽に見える珍しい鶏とされています。

なぜインギー鶏をもちろつたか？

かつて百年ほど前の昔イギリスの帆船「ドラメルタ」号が前之浜に沈んで、また下中の人々は船に乗っていた乗組員を助けたそのお礼にインギー鶏をもらい、つけることができたそうです。

下中の人々はそのとりを絶やさず大切に育ててきました。



インギー鶏の豆知識

インギー鶏の飼育期間が育期間が6ヶ月と長くかかると、市場に出る数が少ない、稀少な鶏です。

この販売で羽あたり骨付きの内臓の処理状態で、7ヶ月前後、出荷させるものは通常生まれてから7ヶ月から8ヶ月ものになります。

参考資料

- 鹿児島県南種子町のインギー鶏
- インギー鶏守宙船種子島
- ふらりと種子島